

リコール・告知の判断と市場対応実務

～その対応が企業評価を決める！市場対応の第一人者が対処法を詳解～

日時
2017年 5月30日 (火)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見 1 - 5 - 1)

本講座では、リコールの判断基準・リコール実務の詳細な解説、危機管理広報を中心に、直近の企業事例を織り交ぜながら、適切な市場対応の実務とレピュテーション・マネジメント(会社の評判管理)を実践的に学んでいきます。
* コンサルテーションの時間を設けています。各社で抱えている課題があればお持ちください。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 偏西風事務所 Office Nishikaze 主幹 久新大四郎氏
元)ソニーCSオフィサー 桐蔭横浜大学法科大学院客員教授

- 部 相次ぐ事故・不祥事 問われる情報開示と被害者の救済
1. トヨタとソニーは対応で何を間違えたか
米国リコール問題と個人情報流出問題
 2. カネボウ化粧品の白斑問題で示された消費者の心象形成と社会的合意形成
 3. 異物混入問題の対応にみたアクリフーズとペヤングの違い
 4. 部品メーカーの社会対応が求められたタカタの事故対応
 5. 四つのペナルティ 他

- 部 告知(社告)とリコールの実務
1. 告知とは、なぜ告知が必要か
 2. リコールの判断 定量・定性判断と社会的責任からの判断
 3. 判断の決定プロセスと最終判定者
 4. リコール判断部門の役割
 5. リコールの実施手順
発生の一報から告知、リコール実施・終了まで
 6. 広報の危機管理対応

- 部 告知(社告)とリコールの実務
1. 告知とは、なぜ告知が必要か
 2. リコールの判断 定量・定性判断と社会的責任からの判断
 3. 判断の決定プロセスと最終判定者
 4. リコール判断部門の役割
 5. リコールの実施手順
発生の一報から告知、リコール実施・終了まで
 6. 広報の危機管理対応
ポジションペーパー、プレスリリース、記者会見 他
- 部 会社の評判管理(レピュテーション・マネジメント)
1. 企業の無形資産
ブランド価値とコーポレート・レピュテーション(会社の評判)
 2. 松下のFF暖房機事故とソニーのリチウム電池事故にみる
レピュテーション評価 他
- Solution and Consulting / 質疑応答
【事前アンケートのご質問について解説致します】

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
http://www.ebrain-j.jp

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 リコール・告知の判断と市場対応実務

セミナーコード

1101-170530

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/5/30 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			通信欄	-
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				